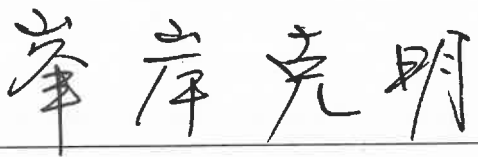


議事録

議 事 の 名 称	令和4年度第1回寄居町総合教育会議		
開 催 日 時	令和4年11月25日(金) 午後1時30分 開会		
開 催 場 所	寄居町役場 7階 研修・相談室B		
議 長 氏 名	峯岸 克明 町長		
出 席 者 氏 名	出席者名簿のとおり		
事務局出席者氏名	出席者名簿のとおり		
議 事 事 項	<p>議事 町内小中学生の学力向上に向けた取組について</p>		
議事の経過 (議事の要旨)	別紙のとおり		
議 事 資 料	・町内小中学生の学力向上に向けた取組について(資料1)		
その他の事項			
議事録の確定			
確定年月日		議長署名	
令和5年2月17日			

別紙

令和4年度第1回寄居町総合教育会議出席者名簿

役職	職名	氏名	出欠席
委員	町長	峯岸 克明	出席
	教育長	関根 光男	出席
	教育長職務代理者	清水 幸三郎	出席
	教育委員会委員	小林 央子	出席
	教育委員会委員	関根 薫	出席
	教育委員会委員	杉田 佑美	欠席
意見聴取者	教育総務課長	黒瀬 和俊	出席
	教育指導課長	岡田 久志	出席
	生涯学習課長	黒瀬 浩史	出席
	教育指導課主幹	野邊 桂介	出席
	教育指導課主幹	阿久津 佳永	出席
事務局	総務課長	嶋崎 靖彦	出席
	総務課主幹	坂本 雅洋	出席

発言者	議題・発言内容（要旨）・決定事項
総務課長	1 開会
町長	2 町長あいさつ
	3 協議事項
	町内小中学生の学力向上に向けた取組について
教育指導課長	町内小中学生の学力向上に向けた取組について説明をした。（資料1）
教育指導課主幹	
	— 会議での意見等 —
	【質疑】
関根教育委員	令和4年度全国学力・学習状況調査（以下「全学調」という。）の結果から見えてくる課題について伺います。
	過日の教育委員会定例会において、教育長からいずれの学科においても、せめて全国平均まで押し上げたいとの発言がありました。現在も学力向上を目的として様々な施策に取り組んでいますが、今後どのような事業を導入していく必要があると考えておられるのか、最初に伺います。
	【回答】
教育長	全学調の成績のみで学力が測れるわけではありませんが、全学調の問題が解けるということは学力が高いということはいえると思うので、新たな取組を様々な形で実施しています。
	まず土曜塾の入塾率を上げるため、ハイブリット型等々、いろいろな取組の中で土曜塾に参加する生徒を増やしました。
	あるいは、子供たちの学習意欲を高める取組として、道徳の授業で寄居のゆかりのある方々に講演をいただきました。そのことにより、子供たちが自己実現をはかるために頑張ろう、自分もやってみよう、自分の人生を考えて、どうにかしていこうというような気持ちを高めるなど様々な方面から取り組みました。
	また、学力がアップした学校の具体的な取組を見ると、担任の先生が様々な工夫した取組が見事に結果に結びついています。
	そこで、その成功した取組について、現在の小学5年生の担任にオンラインでその取組内容を紹介しており、それを見た教員の心に火をつけ、さらに来年度に向け頑張ってもらおうという形を作ることを狙っています。
	では何が特効薬かというところは、これをすれば上がりますというのはありません。ただ、「今良かれ。」とやってやっていると継続するということが大切だと思っています。

<p>関根教育委員</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>各種施策に積極的に取り組んでいることを改めて認識しました。そのような中、本年度も新たに算数検定の実施を決定しました。</p> <p>先日伺った話では、小学4年生までに培った学力レベルがとても大切で、その学力レベルはそのまま中学生まで平行移動するとのこと。算数検定は小学2年生・3年生を対象に実施されますので、時宜を得た施策だと思います。良い結果が出てほしいと願っております。</p> <p>また、教育長から、学力向上に特効薬はない、今良いと思って取り組んでいる事業を地道に継続していくことが大切だというお話がありました。その通りだと思いますが、今後、所管課として新たな施策の導入が必要になった際には、積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>町長は、町の施策の柱の2番目に『教育』を掲げ、「教育は最も確実な未来への投資」とおっしゃられていますので、予算が必要になった時には、寛大なる措置をお願いしたいと思います。</p>
<p>町長</p>	<p>間もなく予算編成に入りますが、教育は本当に底上げしなければならない分野だと思います。</p> <p>勉強ができただけでいいのかとか、テストの問題が1問多く解けただけでそれに価値があるのかというような話になれば、元気で遊んでいる方がいい、健康が一番という話に落ち着いてしまいましたが、決してそうではなく、寄居町の中だけとか、県内、日本国内の比較だけでなく、国際的に見れば、日本自体のレベルというような話にもなっています。</p> <p>この国の将来を考えると、やはり人材が一番の財産なので、本当に効果的なものがあるのであれば、積極的に予算化したいと思います。そのためにも、寄居の中の課題として挙げられるところに、是非手当てをしていく、あるいはそれこそ町民の皆さんにわかるような説明をしていきたいと思っています。</p> <p>改善方法を見出し、目標を設定した結果、新規事業に予算を計上したと明確に説明したいので、今日は本当に忌憚のないご意見をいただければと思います。</p>
<p>清水教育長職務代理者</p>	<p><b>【意見】</b></p> <p>先ほど「より・E土曜塾」、「より・E英語塾」、「算数検定実施事業」、「中学校英検無償化事業」等、ほかの市町村にはない寄居町の特色ある教育についてお話を伺いました。こうした活動の参加率も年々着実に向上し、それぞれ学力の向上に結び付いてきております。是非、今後とも、これらの活動のさらなる充実を図ってほしいと思います。</p> <p>さて、児童生徒の学力の向上を目指す取組について私は、私自身の経験から次の3点が必要であると考えています。</p> <p>一点目は、「学校全体として学習規律・生活規律を徹底させるように取り組むこと」です。このことは、文部科学省の主任視学官であった熊谷市出身</p>

の嶋野道弘先生も同じようにおっしゃっておられました。

二点目は、「教師と児童生徒の温かい人間関係を育てること」です。これは、学力日本一になった秋田県のホームページに、『温かい人間関係ができあがっていればいるほど、学習効果が上がる』と記されております。教師と児童生徒の信頼関係作りが、学力向上の根底にあることを裏付ける証明にもなると思います。

三点目は、「何を学ぶのかを児童生徒がしっかりと把握した上で、学習に取り組ませる環境を整備すること」です。

これは、先ほどの嶋野道弘先生が、「学習すべき事は何かをしっかりと把握し、考え、計画できる子供ほど学力が高い傾向がある」と指摘しておられました。

寄居町の特色ある教育活動が、各学校の活性化の起爆剤として効果的に機能し、学校ごとの学力の向上に結び付くことを心から期待したいと思えます。そして、そのためには、この特色ある教育活動が、各学校の活性化につながるようにそれぞれの校長先生を中心に、手立てや研修等をもう一步深めていただければと願っております。

また、本日の説明には提示されませんでした。温かい人間関係を醸成するという観点からすれば、寄居町の取り組んでいる特色ある教育活動のうち、「道徳の町 寄居」の教育実践は、学力向上の基盤づくりとして、大変重要な教育活動になってくると思えます。また同じく、アメリカ合衆国オハイオ州メアリズビル市との伝統ある中学生交流事業についても非常に大事な教育活動であると思えます。

『地域と連携・協働した教育の推進』を目指す教育実践のスタートとなる「小学校巡回企画展」の事業も最近、寄居町の特色ある教育活動として新聞に掲載されました。

こうした教育活動がこのところ増えてきているので、私自身としては、誇りに思いながら、活動の充実を心から期待しています。

#### 【質問】

清水委員から3点ほど説得力のあるご指摘をいただきました。今お示しいただいた3点の観点からいうと、今の寄居町の6校の小学校、3校の中学校の学習生活の、「規律」や「教師と子供たちの人間関係の温かさ」や「何を学ぶかをよく把握しているか」などは、現状どうでしょうか。

#### 【回答】

まず学習規律、生活規律については、小学校は以前に寄居町学力向上推進委員会で取決めをした学習規律の掲示物を利用して、それを指標に各学校の教職員、担任の先生が各クラスの指導、子供たちの指導を行っています。

また、この学習規律について、小学校は特に教員OBである学習サポーターが非常にしっかりしていて、若い担任のクラス補助をしっかりといただいています。そんな陰の力がこの規律に関しては大きく働いているところ

町長

教育指導課長

	<p>です。</p> <p>その小学校の基盤となる学習規律が中学校の生活規律にも少しずつつながってきている、それが現状です。</p> <p>また、先生と児童生徒の温かい人間関係については、国の道徳の特別の教科化も含めて、子供たちの心がよく育っています。先生と教職員の温かい、豊かな人間関係もうまくいっている状況で、大変いい学級経営をされていると感じています。</p> <p>何を学ぶかをしっかり把握させておくことについては、県の指導者を含めた各学校研修を通して、これからの学力向上が求めている授業を指導者の方でご指導していただき、その指導を学級経営の指導にも生かしているところです。</p>
町長	<p><b>【質問】</b></p> <p>資料に令和3年と4年の結果の比較が出ています。1年だけをもって全てを言えるわけではありませんが、小学校で見ると、国語と算数と理科の3科目で、9部門が全国平均を上回っており、9部門で下回っています。中学校では、残念ながら程度の差こそあれ全中学校が各項目全てで全国平均を下回っているという状況になっています。</p> <p>規律の部分を開別に見れば、うまくいっている、あるいは成果を上げているということもあるかもしれませんが、なかなかまだまだそれが結果には結びついていないという状況に見えます。この辺はいかがでしょうか。</p>
教育指導課長	<p><b>【回答】</b></p> <p>全学調も埼玉県の学力状況調査（以下「県学調」という。）も、この資料の中にはない質問紙調査というのがあり、規律の部分と、また「将来の夢を持っているかどうか」というような項目も、寄居町の児童生徒は全国よりも非常に高い数値を出しています。</p> <p>つまり、心は育っているので、これからの学力の数値を表すことについては、様々なペーパーのテストの経験であるなども含まれてのことであるので、良い結果が現れるような土台はできているのが現状です。</p>
町長	<p><b>【質問】</b></p> <p>ペーパーテストの結果ではなく、「しっかり朝食を食べますか」のような項目から始まり、「この教科は好きですか」のような項目までの質問については、寄居町の子供たちの回答は非常に高いレベルにあります。</p> <p>寄居町の子供たちはさいたま市や熊谷市と比較しても高く、意欲はあるし、学習規律や人間関係は出来ています。ですが、なかなかテストの点数にはつながってこない、そのギャップはどこにあるのでしょうか。寄居の傾向で言うと、例年、子供たちの意欲は高いのだけれども、なかなか結果に出でこない、この差はいつもあるような気がしてならないのですが。</p>
教育長	<p><b>【回答】</b></p> <p>その結果について、令和4年の相対値は令和3年度の教育活動の評価であ</p>

ります。

令和3年度の相対値は令和2年度の教育評価であり、令和2年度の教育評価を令和3年度と比較すると、やはりある程度の向上が見られています。その辺から令和3年度から始めた取組の効果が見えているのではないのでしょうか。例えば、道徳の取組についても、令和2年度は「道徳の町 寄居」のキャッチフレーズで実施していたものの、去年の杉原（行里）さんに講演いただいたような形では実施していません。子供たちはあの講演の後、「私もあのような大人になりたい」というような、そういった憧れからの勉強の意欲づけにつながるので、もう少し様子を見ていただきたいと思います。

加えて、先ほど嶋野先生の話が出ましたが、嶋野先生には、男衾中学校の探究学習を見に来ていただきまして、その際以下のようなコメントを頂いています。

「学校の学びや学校の中で止まるのではなく、社会に出た後の自分の学びにもつなげていくことが求められています。男衾中学校の総合的な学習の時間の取組はまさにそういうことを具現化する素晴らしい取組です。」

このようなふるさとに関する探究学習、ふるさと探究学のようなものを寄居の町内で、来年度、中学生を対象に広められればな、と思っています。

そういったところから、学習そのものに対する意欲付け、学びの楽しさ、もっともっと学びたい、そのためには基礎学力が必要だ、というようなストーリーができるといいと思います。

これらの取組については、継続して見ていただくとありがたいと思っています。

#### 【意見】

各学校の教育の目標は「知・徳・体」で成り立っていて、「知」は確かな学力なので寄居町では学力向上、「徳」は豊かな人間性なので道徳教育に力を入れています。「体」は体力向上で、体力テストにおいては以前県下で1位になりました。また、マラソンの設楽悠太さんであったりオリンピック金メダリストの新井千鶴さんであったりと、10年前・20年前から寄居町の学校教育で取り組んできた事が、今ここで花開いているのではないかと思います。

そこで、町長にお願いですが、埼玉県の学力向上で指定を受けて研究している学校や、寄居町教育委員会の指定を受けて研究をしている学校の研究発表会を見ていただきたいと思います。先生方が試行錯誤しながら授業に取り組んでいる姿や学校の雰囲気、小学校1年生から学校の規律を学ぶ様子や、道徳の授業や普通の授業を是非見ていただきたいと思います。また、先生方の掲示物への工夫や、工夫して授業をしている姿、児童生徒の真剣に学んでいる様子も見ていただきたいと思います。

#### 【質問】

実際に前触れなく授業を見に行くことは可能ですか。

小林教育委員

町長

<p>教育長</p>	<p><b>【回答】</b> 別に問題はありませんが、先生方のスケジュールの都合もあるので、研究発表であるとか、授業研究会の方が良いと思います。</p>
<p>清水教育長職務代理者</p>	<p><b>【意見】</b> 先日、桜沢小学校の研究発表会に参加させていただいた折に、教育長と小林委員と同席した待合室で、たまたま、教育長から「町長が『機会があれば小・中学校の授業を参観したい』とお話をされていた」と伺いました。 「もし、町長に授業を参観していただければ、先生方も児童生徒も授業への気構えも新たにして取り組み、素晴らしい刺激になると思う」などと話し合いました。</p>
<p>町長</p>	<p>授業も見たいし、子供たちとも話したい。先生方とも言葉を交わしたい。そういった機会です町を盛り上げていきたいと思っています。</p>
<p>小林教育委員</p>	<p>教育委員も1年に1度、9つの学校を3年のローテーションに分けて、3校ずつ授業や校内の様子を見せていただいています。その時に同行していただくのも良いと思います。 その時は、給食センターに行き給食の試食がありますので、児童生徒がどんなものを食べているのかを体験していただくのも、良いと思います。</p>
<p>町長</p>	<p><b>【質問】</b> 全学調の結果について、小学校よりも中学校の方が、全国平均に比べて下がってしまっている点と、地域によって少し偏りがあるような結果に見えますが、この辺はいかがでしょうか。</p>
<p>教育指導課長</p>	<p><b>【回答】</b> 全ての学校に当てはまるわけではありませんが、中学校はやはり学習内容が多くなるという点で、小学校で上がった学力からの結びつきがうまく出来ていません。 多くの方が経験したように、小学校の学習と中学校の学習では少し違うという感覚があります。今後は小中一貫教育も進めているところでもありますので、うまく活用し、小学校で上がってきている学力を、中学校にも引き継いでいきたいと考えています。 また、今回の結果で下がってしまった小学校は、前年は最も上げた学校でした。地区というよりも、その年その年の子供たちのその発達の段階なのではないかと分析しています。</p>
<p>町長</p>	<p><b>【質問】</b> 中学校の英検で今非常に力を入れて取り組んでいただいています。英検受検料無償化を始めた頃は、英検3級という中学校卒業程度の学力だと思いましたが、それが7.9%程度だったのが3割程度まで伸びてきているということでもあります。</p>



	<p>町村会という町村長が集まる会議の場で事例発表があり、伊奈の町長が「英検 3 級受検料無償化で取り組んでいる。その結果として、昨年度は英検 3 級以上の取得が 6 4 % だった」という話をされました。さいたま市は 8 1 % という話も聞いています。ほかと比較して、当然状況も違うと思いますが、同じ埼玉県、同じ時代の中学生、中学校の 2 年生 3 年生でも差があると思っただころです。</p>
教育長	<p>寄居町としてはどのような捉え方、あるいは今後の目標はどの辺りに置いているのでしょうか。</p>
教育長	<p><b>【回答】</b> 寄居町としては、やはり国が目標としている取得率 5 0 % を第一目標に考えています。小学生向けの英会話教室など手立てを打っており、何も手立てがなかったら、もっと悲惨な結果だったのではないのでしょうか。先ほどの繰り返しになりますが、だから駄目なのではなくて、だから続けていくという考えで継続していくことがやはり大切なのではないかと思います。継続していければ、いい結果に結びつくと思っています。</p>
町長	<p><b>【質問】</b> 全学調としては、寄居町の目標はどのようなものになりますか。</p>
教育長	<p><b>【回答】</b> 県北ナンバーワンです。それが寄居町の目標なので、校長会でもそのように話しています。</p>
町長	<p><b>【質問】</b> 近年では、寄居町は県北ではどのような状況でしょうか。</p>
教育長	<p><b>【回答】</b> 中の下程度ではないでしょうか。1 2 市町村ある中では、結果を公表していない自治体もありますが、小学 4 年生の県学調ではおおよそ真ん中くらいです。 県北でトップとなると、全県のトップクラスとなります。</p>
町長	<p><b>【質問】</b> 初めに説明があった、「より・E 土曜塾」について質問します。 土曜塾の最終目標というのが資料 1 枚目の図 2 にあり、「希望する進路の実現」とあります。希望なのでもちろん個人で違い、偏差値の高い高校から順にということではなくて、やはりいろいろ希望があると思われます。 「希望する進路の実現が最終目標」ですが、どのように捉えられたら良いのでしょうか。</p>
教育指導課長	<p><b>【回答】</b> 最終的には、その進路先も自分で決めることなので、それがいわゆる希望と言えれば希望と捉えています。</p>
教育長	<p>中身の濃さというのがあると思います。</p>

町長	<p>自己実現を図る上で、高みを目指すタイプの子は高みを目指して、チャレンジ精神旺盛に目標に取り組むと思いますし、現状のレベルまでで良いと考えるタイプの子は現状が最終目標と捉えると思います。</p> <p><b>【質問】</b></p> <p>冒頭にも関根教育委員から予算という話が出ました。来年度予算編成に向けて、この12月、1月というのがちょうど山場になります。</p> <p>目標達成のため新たに取り組むべきことなど、何か具体的なものがあれば、すぐに予算化できるかどうかは別にして、こういう教育会議の場で教えていただければ、なるほどと思う部分については積極的に、予算確保を考えたいと思います。</p>
教育長	<p><b>【意見】</b></p> <p>先ほど申し上げた、ふるさと探究学のようなものを各中学校に予算化していただけると、それに伴う交通費や材料費など、いろいろなことに使うことができます。</p> <p>そのことにより、主体的・対話的で深い学びの展開になると思うので、検討していただきたいと思います。</p>
小林教育委員	<p>それを小学校にも広げることはいくつかできないでしょうか。</p>
教育長	<p>小学校で郷土学習という形でより学んでいます。その延長で、まずは中学校の1年生から3年生まで実施をしたいと思います。現在は男衾中学校で実施しているので、その流れで、小中連携の中で工夫できていければ、考えていければいいと思っています。</p>
小林教育委員	<p>小学校では3年生から「総合的な学習の時間」が始まり、また、3年生の社会科で「寄居町」の学習をします。郷土の探究にかかる費用が、校長の裁量でできるようになると良いと思います。</p>
教育長	<p>あまり手を広げ過ぎてしまうと、指導主事の数にも限りがあって負担になってしまうので、まずは来年度に3中学校に広げて様子を見たいと思います。</p>
小林教育委員	<p>ぜひ小学校でもお願いしたいと思います。</p>
町長	<p><b>【質問】</b></p> <p>男衾中学校の大規模改修は、来年度に向けて大きな事業になります。このほかにも何か提案、提言はありますか。</p>
小林教育委員	<p><b>【意見】</b></p> <p>予算を組んでもらって、男衾小学校は今年度トイレを綺麗にしてもらって、児童たちも喜んでいます。町内の学校では施設が雨漏りするなどでいる</p>

	<p>いと修繕してもらっていますが、子供たちが毎日使うトイレは是非見ていただきたいと思います。</p> <p>また、先ほど話に出た給食の回数については、保護者の負担で弁当を作る日が結構あります。教育総務課に確認すると、物価の値上がりで給食の回数を増やすのは大変だそうです。皆さんの努力のお陰で寄居の給食は充実しているという話を聞きますが、給食の回数について、授業がある日は全て給食の提供をし、短縮授業の日は給食を食べて下校というような形にしてほしいと思います。</p> <p>家庭でバランスの良い食事をとることが困難な子供たちもいます。長い休みになると、先生方が子供の食事を心配するような家庭環境もあるので、是非給食の回数を多くしていただけると有り難いです。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>トイレについては、今年度小学校全校について、和式便器を洋式化にする工事を、今年度で完了する予定で進めており、現時点では65%程度です。</p> <p>中学校については、男衾中学校が来年度の工事を予定しています。取り掛かかっていないのが寄居中と城南中という、校舎としては比較的新しいところとなっています。比較的新しいと言いましても、どちらの中学校も完成してからもう30年近く経っていますので、そろそろ何らかの手を入れていく時期が来るかと思っています。</p> <p>また、給食の回数については、これまでも教育委員会の中でもご意見をいただいで、できるだけ、現在は年間で185、6回程度を提供させていただいています。しかし、特に今年から、給食の栄養士が食材の見積を取ると、月ごとに値上がりをしているような状況で、現在の給食費との兼ね合いとなると、回数をさらに増やすのは非常に困難な状況です。</p> <p>今年度は国の交付金を活用して、給食費の半減の施策、それから食材の購入費にも交付金を活用するという二本立てで、家庭への負担の軽減化を実施しています。</p> <p>今年度はコロナの臨時交付金があるので負担軽減対策が出来ていますが、来年度については交付金がないので、そういったことをどのようにしていくか、子供たちの毎日食べる、提供する給食の質の低下を招かないようにする、また一定の回数を確保することについて、教育総務課でも学校給食センターでも、どのようにできるかを研究しているところです。</p> <p>しかし、現行の給食費のまま今以上に回数を増やすのは、非常に困難な状況になっています。</p>
<p>関根教育委員</p>	<p><b>【質問・意見】</b></p> <p>学力向上に関する委嘱研究校について、現在の制度と補助額をお聞かせください。また、必要に応じて補助額の増額検討をお願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p><b>【回答】</b></p> <p>町としては現在、寄居中学校を学習指導研究校に委嘱しており、毎年1校</p>

町長	<p>を指定して補助を行っています。</p> <p><b>【質問】</b> 年間にどの程度補助しているのでしょうか。</p>
教育指導課長	<p><b>【回答】</b> 補助額は現在、1年間に5万円で、学習指導研究校は2年間の指定となっています。</p>
町長	<p><b>【質問】</b> 5万円の使途は。</p>
小林教育委員	<p><b>【回答】</b> 研究成果の冊子を作成するのが主な使途になります。研究委嘱校となると、先生方の指導力向上につながります。ただし、勤務時間は長くなってしまふ心配があります。</p>
町長	<p><b>【質問】</b> 現場の先生からは、指定されるのは確かに嬉しい反面、負担が増えることも懸念されるのですね。</p>
教育長	<p><b>【回答】</b> 現行の研究指定を続けるのであれば、負担は増えません。ただ、費用面を負担していただければ、各校はやりやすくなります。</p> <p>その事業を止めない限りは負担軽減にならないので、そうなるまで負担軽減をすればよいのかという話になってきます。研究は子供たちを伸ばすために必要です。とはいえ事業を広げていくと負担は増えていってしまいますが、現行のままで、内容を充実させるために補助金を増額していただけるのであれば、負担が増えずに実施できるのではないのでしょうか。</p>
清水教育長職務代理者	<p><b>【意見】</b> 令和4年度から教育行政重点施策の各施策が新たに、持続可能な開発目標（SDGs）の各目標に沿うように設定されました。これにより、教育行政重点施策の基本理念に基づいた5つの基本目標とその達成に向けた施策が構造的に配列され、大変すっきりとした形になったと思われまふ。特に注目すべきは、各施策のすべての具体的な取組について、それぞれ「成果指標」と「目標値」が明示されたことです。様々な教育活動の中には、数値目標の設定にはなじまない活動もあります。しかし、多くの教育活動の取組については、それぞれの達成状況を公正な数値として明示することにより、その取組の現状分析や現状把握がより正確にできるようになると思われまふ。</p> <p>そして正確な分析や把握が可能になれば、達成目標に向けたより効果的な活動を導き出せるようになります。</p> <p>ともすると抽象的で曖昧な基準で判断されがちな教育活動においても、定量的、数値的指標に基づいた取組の検証が可能となったことは、画期的であると思われまふ。</p> <p>令和4年度の教育行政重点施策を出発点として、本日のテーマである「学</p>

	<p>力の向上に向けた取組」についてもこうした視点で今後の活動を検証していければと考えております。</p> <p>【回答】</p> <p>非常に大事な点であると思います。実際に、さまざまな情報が出てくる部分と、なかなか求めないと出てこない部分、あるいは、わかっているも上がってこない部分があります。</p> <p>それぞれの担当者をお願いしたいのですが、数値化すると、数字が1人歩きしてしまうので、それが全てではないというのは理解できます。しかし、清水委員が言ったようなことが非常に大事で、全ての情報を外部に常時発信しなければならないとか公表しなければならないということではなくて、ごくごく一部の方しか知らない、理解していない、担当レベルしか把握していないという状況は、やはり町全体とすれば良いものではありません。こういった場を通して、特に数値目標があるものについては、数値で情報提供していただきたいです。そうでないと、言葉のニュアンスだけではわかりづらいことになってしまいますので。学力だけではなく、様々な面について、経年の変化の報告をお願いします。</p>
<p>町長</p>	
<p>総務課長</p>	<p>4 その他 議事録の確認を依頼</p>
<p>総務課長</p>	<p>5 閉会</p>